



別寒辺牛

2011年3月発行
NO.25

平成22年度やちっこクラブ活動報告

平成21年度から、町内の子供たちを対象とした会員制の自然体験クラブとしてスタートした「やちっこクラブ」。今年度は14人のキッズレンジャーが、サポーター7人、協力員4人と一緒に、月に1回のペースで、厚岸の自然について楽しみながら学習してきました。今年度は北海道大学厚岸臨海実験所の協力を得て、厚岸の環境とは切っても切れない「海」の体験学習プログラムも盛り込み、より充実した活動になりました。今年度の活動内容は以下の通りです。

- 5月 ● 子野日公園で春の植物と夏鳥の観察
- 6月 ● 厚岸臨海実験所の実習船「みさご丸」に乗船し、大黒島周辺の海鳥やアザラシ、厚岸湾のプランクトンなどを観察
- 7月 ● 別寒辺牛川のカヌー下り
- 9月 ● 厚岸臨海実験所の実習船「えとぴりか」に乗船し、厚岸湖のアマモ場の生物を採集、観察
● 沖縄から講師をお招きして「海のお話会」
- 10月 ● 別寒辺牛川のカヌー下り
- 12月 ● 厚岸の水鳥についてのお話（悪天候のため室内で活動）
- 1月 ● 厚岸湖の水鳥調査
- 2月 ● 全道一斉海ワシ類調査

平成23年度も、子供たちが楽しめるようなプログラムを企画中です。募集要項は別途案内しますので、ご興味のある方は水鳥観察館までお問い合わせ下さい。



厚岸臨海実験所の実習船「みさご丸」で観察会



「海のお話会」（サンゴ礁からアマモまで）

高病原性鳥インフルエンザについて

浜中町で、1月12日から2月21日までの間に回収した野鳥9羽（オオハクチョウ6羽、スズガモ属1羽、スズガモ1羽、オナガガモ1羽）から強毒性の高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N1亜型）が検出されておりますが、2月17日、厚岸町で回収した死亡したオオハクチョウ1羽からも、高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N1亜型）が検出されました（2月25日現在）。環境省・北海道では、これら渡り鳥に対して、鳥インフルエンザ対応マニュアルに基づき対応しており、水辺域での監視をさらに強化しています。

厚岸町では、水辺付近への立ち入り制限などは行っていませんが、これから野鳥の渡りのシーズンを迎えることもあり、町民のみなさんには引き続き以下の点を心がけて、冷静な対応をしていただけるようお願いいたします。

死亡している、または弱っている野鳥を見つけても触らないで下さい！

このような野鳥を見つけた場合は、以下の部署にご連絡下さい。

- 環境省釧路自然環境事務所 TEL：0154-32-7500（代）
- 北海道釧路総合振興局環境生活課 TEL：0154-43-9155（直）
- 厚岸町役場 林政係 TEL：0153-52-3131（代）

野鳥に触った場合は手洗い・うがい等をして下さい。

鳥インフルエンザが人に感染することはまれです。万が一ウイルスが付着しても、通常の手洗い・うがい等で十分に感染を予防できます。

野鳥の糞を踏んだ場合は靴底を洗って下さい。

靴底にウイルスが付着していると、歩き回ることによってウイルスを広めてしまう恐れがあります。釣りなどで水辺に立ち入ったりして水鳥の糞を踏んだ可能性がある場合は、念のため靴底を洗ってください。

野鳥に餌を与えないで下さい。

餌付けによって野鳥が集まると、ウイルスが野鳥の集団の中で一気に広がる恐れがあります。厚岸町では、かねてより鳥インフルエンザ発生の有無にかかわらず、その種の生態系を崩さないために、野鳥への餌やりをしないようお願いしています。

ご不明な点や不安なことがありましたら、厚岸町役場環境政策課または厚岸水鳥観察館までお問い合わせ下さい。

ラムサール条約登録湿地 厚岸湖・別寒辺牛湿原 厚岸水鳥観察館だより

あつけし みずどり かんさつ かん

厚岸水鳥観察館

☎088-1140

北海道厚岸郡厚岸町サンヌシ6番地

TEL (0153)52-5988 FAX (0153)53-2121

E-mail: bekan@marimo.or.jp

URL: <http://www.marimo.or.jp/AWOC/>